

宇都宮市立今泉小学校第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	77.6	69.6	68.7
	量と測定	79.0	72.8	72.0
	図形	87.4	77.8	78.0
	数量関係	75.3	69.4	67.8
観点	数学的な考え方	64.8	56.3	54.2
	数量や図形についての技能	79.5	72.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	86.6	78.2	78.1

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○本校平均正答率が77.6%で、県の平均を8.9ポイント、市の平均を8ポイント上回っている。</p> <p>○整数や小数や分数の計算技能はよく身に付いている。</p> <p>○わり算・大きい数・少数・分数の内容の問題では県の平均を10ポイント以上上回っている。</p> <p>○わり算で余りを切り上げて処理し、その理由を説明する問題では県の平均を15ポイント上回っている。</p>	<p>・学習した内容はほぼ身に付いていると思われる。</p> <p>・()を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、式の意味を場面と結び付けた説明を選ぶ問題は、市・県を上回ってはいるが、4年生でこの調査後に学習した式と計算で、改めて確認した。式と計算での()を用いた式の学習は、今後も繰り返し復習させ、力を伸ばしたい。</p>
量と測定	<p>○本校平均正答率が79.0%で、県の平均を7ポイント、市の平均を6.2ポイント上回っている。</p> <p>○時ごとと時間や物の重さに関する問題では、全てにおいて市・県の平均を大きく上回っている。</p>	<p>・学習した内容はほぼ身に付いていると思われる。</p> <p>・身近にあるものの重さを推察する問題は、市・県を上回ってはいるが、同じような問題を数多く解いたり日常生活の中で経験をもとに考える力を養えるような場を設けたりして意欲を高めるとともに技能についても力を伸ばしたい。</p>
図形	<p>○本校平均正答率が87.4%で、県の平均を9.4ポイント、市の平均を9.6ポイント上回っており、他の領域よりも県や市と比べ高い正答率である。</p> <p>○円と球の設問について全て県や市の平均を上回っている。特に球の半径と直径の関係についての問題では、県の平均を17.6ポイント、市の平均を15.9ポイントと大きく上回っている。</p>	<p>・図形については実物を用いたり、ひとりひとりを支援しながら授業展開したことが高い正答率につながったと思われる。今後も継続して指導していく。</p>
数量関係	<p>○本校平均正答率が75.3%で、県の平均を7.5ポイント、市の平均を5.9ポイント上回っている。</p> <p>○□を使った文章問題(減法逆の場面)の図を選ぶ問題では県の平均を10.2ポイント上回る高い正答率であり、□を用いた式の計算順序の理解や文章問題を解くための立式の技能についてよく習熟がなされている。</p> <p>○棒グラフを読み取る問題も本校平均正答率が87.9%とよくできている。</p>	<p>・□を使った問題の減法逆はよくできているが、□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ問題では、誤答が多く、□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶことができない児童が見られるので、同じような問題を繰り返し解かせることで定着を図る。</p>